

令和3年 第8回別海町教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年7月5日(月)
13時30分から14時20分まで
- 2 開催場所 別海町役場4階第2委員会室
- 3 出席者 (5名)
- | | |
|------|---------|
| 教育長 | 登 藤 和 哉 |
| 教育委員 | 大 塚 保 男 |
| 教育委員 | 木 村 江 里 |
| 教育委員 | 粥 川 一 芳 |
| 教育委員 | 鈴 木 桃 子 |
- 4 出席職員 (21名)
- | | |
|------------|---------|
| 教育部長 | 山 田 一 志 |
| 教育委員会部次長 | 石 川 誠 |
| 指導主幹 | 相 澤 要 |
| 指導主幹 | 稲 村 和 典 |
| 指導参事 | 吉光寺 勝 己 |
| 学務課長 | 宮 本 栄 一 |
| 学務課主査 | 佐 藤 亮 |
| 学務課主査 | 大 山 晋 作 |
| 学校教育課長 | 池 田 卓 也 |
| 学校教育課主幹 | 堀 込 美 穂 |
| 学校教育課主査 | 高 津 寛 人 |
| 生涯学習課主幹 | 戸 田 博 史 |
| 生涯学習課主査 | 恒 川 敦 史 |
| 生涯学習課主査 | 上 杉 大 洋 |
| 学校給食センター主査 | 平 下 奈津子 |
| 中央公民館長 | 新 堀 光 行 |
| 中央公民館副館長 | 小 村 茂 |
| 西公民館長 | 田 村 康 行 |
| 東公民館長 | 福 原 義 人 |
| 東公民館副館長 | 立 澤 雅 彦 |
| 図書館長 | 堺 啓 |

- 5 議事日程 議案第 1 号 別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について
議案第 2 号 別海町生涯教育研究所所員の任命及び委嘱について

教育長
(登藤和哉君)

－【開 会】－

ただいまから、令和 3 年第 8 回の別海町教育委員会議を開会いたします。

本日の出席者は 5 名でございます。別海町教育委員会会議規則第 5 条の定足数に達しておりますので、会議の成立を宣言いたします。

開会に当たりまして一言私からご挨拶申し上げます。

本日は、ご多用の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

各学校、幼稚園では、そろそろ運動会、体育祭の時期となりました。ネーミングはそれぞれですが、昨年同様、動員や内容について工夫したものであるようです。天候に恵まれることを祈っているところであります。

また、学校訪問では、お忙しい中、ご出席をいただき大変ありがとうございます。学校訪問では、各学校とも、子供達、先生方の意欲を感じられたことと思います。あと半分ほど残っていますが、よろしくお願いいたします。

学校訪問で委員の皆様も感じたと思いますが、各学校では、感染症対策や先生方の積極的な姿勢が垣間見られたことと思います。特に感染症対策においては、本町の学校関連での大きな混乱が現在までなく、無事ここまで経過しているということは、学校サイドの徹底した安全対策が功を奏していると感じております。各校の取り組みに敬意を表したいと思います。

学校訪問で気づいたかと思いますが、タブレットを使いこなす子供達を見て、これから対面授業、オンライン授業、家庭学習それぞれの学習がハイブリット化することで協同的な学びを展開していくこととなるのだろうと予想をしているところであります。しかし、本年度から始めた GIGA スクール構想でありますので、まだ折衷的な授業となると思いますが、これから飛躍的な進歩をするものと考えています。

この GIGA スクール構想については、新型コロナウイルス感染症対

教育長
(登藤和哉君)

教育長
(登藤和哉君)

教育長
(登藤和哉君)

教育長
(登藤和哉君)

教育部長
(山田一志君)

策により前倒しで進められたことから、現場の混乱が予想されましたが学校では先生方の努力で順調な進捗を見せています。別海町の先生方の優秀さに敬服し感謝しなければならないと思っております。

これから、年間スケジュールが過密となり、色々な課題が出てくることが予想されますが、一年365日というスパンでデザインする必要があると思っておりますので、これからの進み方に期待をしているところであります。

各学校でそれぞれ工夫した取り組みがされると思いますが、子供達にとって何が一番有効かを考え対応してもらいたいと思っております。

長くなりましたが、本日の日程に入ります。どうぞよろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

それでは、日程第2前回会議録の承認に入ります。

令和3年第7回の会議録について事前に委員の皆様にも事務局から送付をしておりますので、訂正御意見等がありましたら発言をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

なければ、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、第7回の会議録については、承認することといたします。

－【報 告】－

次に、日程第3報告に入ります。

6月14日に開催いたしました第7回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局から報告をお願いいたします。

それでは6月14日開催の第7回教育委員会議以降、本日までの主な行事、それから実施事業等についてお配りの資料により報告いたします。

まず6月17日、定例教頭会議を開催し、教育長及び関係職員が出席しております。

翌18日、役場議場で、第3回全員協議会が開催されまして、教育長及び関係職員が出席しております。

それから同日、第19回別海町新型コロナウイルス感染症対策庁内連絡会議が開催され、教育長及び教育部長が出席しております。

6月21日から24日までの日程で第2回別海町議会定例会が開催され、教育長及び関係職員が出席をしております。

6月28日、上風連小学校、中学校で、午前が小学校、午後が中学校で、実のなる木事業、卒業記念植樹が行われまして、教育長が出席

教育長
(登藤和哉君)

学務課主査
(佐藤亮君)

をしております。

29日、教育委員学校訪問を上風連小学校、中学校、それから別海中央中学校で実施しまして、教育長、教育委員及び関係職員が出席しております。

また同日、別海中央小野球少年団の表敬訪問を受けました。

内容はマクドナルド杯と言いまして小学校野球の甲子園大会というような大会の全道大会出場、北大会の出場が決まったということで表敬訪問を受けまして、町長及び教育長が子供たちを激励しました。

30日、定例校長会議を開催し、教育長及び関係職員が出席しております。

月が変わりまして7月1日、別海中央小学校で幼保小交流会が開催され、教育長及び関係職員が出席しております。

翌2日、教育委員学校訪問を野付幼稚園、それから野付小、中学校で実施しまして、教育長、教育委員及び関係職員が訪問しております。

同日、別海町マルチメディア館で根室管内小中学校事務研究協議会が開催され、教育長が来賓として出席し挨拶をしております。

そして5日、本日第8回教育委員会議の開催となっております。

以上です。

－【議 事】－

それでは次に、日程第4の議事に入ります。

はじめに、議案第1号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、事務局から説明をお願いいたします。

議案第1号について説明いたします。議案1ページをご覧ください。

議案第1号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、別海町教育事務執行の点検評価等に関する規程第3条第3項により別紙のとおり点検評価委員に提出する。

本議案は、別冊でお渡ししています、令和3年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書を5月21日に開催しました第6回教育委員会議で決定した点検評価委員に提出するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項で、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められております。

また、同条第2項では、教育委員会は前項の点検評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

今後は、点検評価委員の棚橋昌博氏、下地哲氏に点検評価を行って

学務課主査
(大山晋作君)

いただき、その後作成する評価報告書を議会に提出するとともに、公表する予定となっております。

次に、別冊の令和3年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書をご覧ください。各担当から概要等を説明させていただきます。

学務課の1ページをご覧ください。

学務課総務担当分について簡単に説明させていただきます。

上段は別海型コミュニティ・スクール推進事業です。

令和2年度には、運営協議会を町内全8地区に設置しており、評価はAとしています。

下段は、北海道別海高等学校教育支援事業です。

令和2年度につきましては、通学費助成、寄宿施設の助成など、すべての補助、助成を実施しており、評価はAとしています。

その他、2ページは教師用指導書等購入事業となっております。

学務課総務担当分は以上です。

続きまして、学務課の3ページからになります施設担当分の令和2年度における主な事業の概要につきまして説明いたします。

3ページから4ページになります、小学校、中学校教育用コンピュータ整備事業につきましては、文部科学省から示されたGIGAスクール構想に基づき、全小中学校の普通教室、特別教室でWi-Fiが使えるよう、校内のネットワーク環境の整備工事を行うとともに、1人1台端末として、小学校分1,033台、中学校分567台、計1,600台のタブレット端末の整備、その他GIGAスクール構想関連の機器整備等について新型コロナウイルス感染症対策事業と併せて位置づけ、整備を行っています。

7ページ以降の校舎関係になりますが、新型コロナウイルス感染症対策として、窓を開けての換気を行う環境を整えるために、網戸が未設置である教室への網戸の設置及び蛇口への接触を減らすことで感染のリスクを低減することを目的に手洗い水栓について手回し式からレバー式への交換を実施しています。

また、換気量が不足し、結露の発生が問題となっていた、上風連小学校の校内体育館へ換気設備を設置し、換気環境を整え、感染対策を実施しています。

そのほか、各学校施設におきまして各種保守点検や小規模修繕を実施しております。評価については、実施済みとしてすべての事業について丸としています。

以上で説明を終わります。

学校教育課主幹 (堀込美穂君)	それでは、学校教育課学校教育・適正化等担当分について説明いたします。 学校教育・適正化等担当分につきましては、学校教育課 1 ページから 3 ページの 5 事業となります この中から今回は、学校教育課 3 ページ上段の Let'sChallenge 検定助成事業について説明いたします。
学校教育課主査 (高津寛人君)	本事業は、昨年度から新たに実施した事業で、保護者負担の軽減及び町内児童生徒の自律的な学びの育成を図るため、児童生徒が受験する漢字検定、算数数学検定、英語検定の検定料、1 人 1 検定につき 1 回分を全額助成するものです。 評価指標は、受検者数の実績によるものとし、令和 2 年度については、目標値 6 2 0 名に対し、7 8 0 名の受検があり、目標を大きく上回ったことから A 評価としています。以上です。 続きまして、教育支援担当分について説明いたします。 教育支援担当分につきましては、学校教育課 3 ページと 4 ページで、いじめ・不登校問題対策事業、奨学資金貸付事業経費、スクールバス購入事業の 3 事業となります。 この中から今回は、学校教育課 3 ページのいじめ・不登校問題対策事業について説明いたします。 令和 2 年度については、教育支援センターふれあいる一むの開設日及び来室件数の減少から B 評価としていますが、理由としましては、指導員 1 名が退職し、月額指導員からパートタイム会計年度任用職員の指導員に変更となったことによるものです。 現在は、令和 3 年の 1 月から西地区にふれあいる一むサテライトを開設し、指導員 2 名体制となったことから、開設日及び来室件数が増加しており、令和 3 年度は目標に近い数値となる見込みです。以上です。
生涯学習課主査 (上杉大洋君)	続きまして、生涯学習課 1 から 1 5 ページに掲載のある生涯学習課生涯学習担当の事業実績について説明させていただきます。 まず、社会教育に係る計画は平成 3 0 年度に社会教育中期振興計画を策定し、令和元年度から取組を進めておりますが、各事業の内容に大きくは変わった状況はありませんが、いくつか追加して実施している事業がありますことを予め申し上げます。 さて、生涯学習担当事業としては、掲載のある 2 3 事業の内、令和 2 年度の実施は 1 4 事業となっております。 掲載事業数との差異については、令和 2 年度そもそも実施予定のない 4 事業があることに加え、新型コロナウイルス感染症等の影響で中

止としたものや、大会派遣費など実績が生じなかった取組が5事業あったことによります。

実施事業各評価の数は、A評価が3事業、B評価が3事業、C評価が6事業となっております。令和3年度から本格実施として評価指標の設定がない先駆けしての取組が2事業となっております。

また、この他に社会教育の振興とは別な観点で実施しております別海高等学校教育支援事業については、その他項目として15ページに掲載しております。

本日は、他の庁内計画とも大きくリンクしている事業について、その概要と評価について簡単に説明させていただきます。

1つ目は、11ページ下段、別海町子ども未来議会です。

令和2年度は高校生に対し、まちづくりに関するアンケート調査を実施したことで併せて、中学生アンケート結果を用いた学習会、そして中学生による模擬議会を開催しております。残念ながら、感染症対策として広く町民に公開した内容とはしませんでした。4階議場において理事者、幹部職員も参加して開催しております。

なお、議場内での傍聴についても人数を制限したことから、学校、保護者に対しては限定公開のYouTube配信を行っております。

各学校での学習会、一般質問作成、当日の送迎など、大部分を生涯学習課で担い、懸案事項でありました学校と家庭の負担を極力減らし実施できたものであり、当日中学生からあった意見にも具体的な取組が進んでいる状況も生じていることから、評価をAとしております。

以上で生涯学習担当の説明を終わります。

続いて文化財担当分について説明いたします。生涯学習課16ページから20ページになります。

掲載しております5事業のうち、A評価が1事業、B評価が2事業、C評価が2事業となっております。

この内、18ページの奥行地区文化財保存整備事業につきましては、コロナ禍のため臨時休館するなどして、入館者数が1,242名と前年度から大きく減少し、目標数の1,700人に達することができませんでした。

一方、約1カ月間の臨時休館期間中を利用して、駅通所物置や馬小屋の内部整備を進めております。

また、駅通所前のオンコの剪定を行いまして、ここに掲載しました写真のとおり、オンコの後ろの駅通所の建物がよく見えるようにしています。評価はCとしております。

文化財担当の説明は以上です。

生涯学習課主査
(恒川敦史君)

それでは社会体育担当分について御説明いたします。

生涯学習課 2 1 ページから 3 2 ページまでとなっております。

事業評価の内訳につきましては、A 評価が 4 事業、B 評価が 1 事業、C 評価が 2 事業、補助事業及び施設の整備が 5 事業、中止となった事業が 1 事業、そして、令和 3 年度からの事業が 1 事業となっております。

事業数が多いため、主なものについて説明をさせていただきます。

最初に、生涯学習課 2 1 ページをお開きください。

コンビニスポーツ教室の普及と充実ですが、前年度は A 評価でしたが、令和 2 年度につきましては、コロナ禍により予定していた運動教室を開催できず、目標値を達成することができませんでしたので、B 評価としております。

次に、2 6 ページをお開きください。

別海町パイロットマラソンの充実です。

前年度は A 評価でしたが、令和 2 年度はコロナ禍の影響により中止となりました。

なお、パイロットマラソンについては、令和 3 年度も、今年ですけれども、コロナ禍により中止となっております。

最後になりますが、3 1 ページをお開きください。下段になります。

町営ランニングコース、パークゴルフ場の整備です。

こちらは補助事業となっております、令和 2 年度の実績はなく、令和 3 年度の事業となりますが、本年 6 月から 1 1 月までの工期でパークゴルフ場の管理棟の改修工事を行うこととなっております。

なお、工事中はプレハブを設置し、そこで受け付け等を行いますので、通常通り利用することが可能となっております。

以上で社会体育担当分の説明を終わります。

学校給食センター
主査
(平下奈津子君)

学校給食センター分について説明します。

給食センターの賄い材料費について説明します。

令和 2 年度もできるだけ新メニューや行事食メニューを提供できるように努めました。

我が国の伝統的な食文化の継承につながるような献立を工夫をしています。そのほか町内産の食材を一部使用した別海給食を 3 回実施しています。

令和 2 年度はコロナウイルス感染症の拡大によるインバウンド輸出の停滞等により流通促進を図ることを目的とした食材の提供があったため、購入した町内産食材の多くは乳製品となっております。町内産のバターや牛乳、ヨーグルトを使用したメニューを数多く取り入れ工

生涯学習センター
建設準備室主査
(大山晋作君)

夫をしています。以上です。

続きまして、令和２年度生涯学習センター建設準備室分の事業の概要を説明します。

本事業については、平成２７年度から実施した生涯学習センター整備に係る計画策定の結果をもとに、防衛省所管の補助事業であります防衛施設周辺民生安定施設整備事業の補助採択を受け、令和元年度から生涯学習センターの建設工事に着手しています。

令和２年度の事業内容としましては、生涯学習センターの本体工事のほか、生涯学習センターの愛称の募集を行い「みなくる」に決定しています。

また、別海高校生とのロゴマークの作成などを実施しています。

令和２年度の事業全体の決算額は１，２８５，７６９，６７０円となっています。

生涯学習センターの整備につきましては、令和３年１２月までに工事を完了、令和４年度からの供用開始を予定しております。

また、令和３年度以降においては、センターで使用する備品の整備及び駐車場等の外構工事を２か年で実施する予定としています。

以上で説明を終わります。

中央公民館副館長
(小村 茂君)

それでは、令和２年度中央公民館所管の事業実績について御説明申し上げます。

中央公民館では、お手元にあります事業実績報告書のとおり、２３の事業を展開しており、Ａ評価が１１事業、Ｂ評価が６事業、Ｃ評価が１事業となっております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した事業は４事業ありましたが、やむを得ない理由により中止した事業については評価を行っておりません。

Ｂ、Ｃ評価の主な要因は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によって事業内容を縮小するなどの変更により、参加人数の減少や実施回数の減少があり、評価基準を下回ってしまったことが主な要因となっております。

しかし、全体的にはおおむね事業目的は達成できたものと判断をしています。

特にその中でも報告書、中央公民館４ページにあります、子どもまつりは例年５月の子供の日になみ開催しているところ、国の緊急事態宣言により、７月に開催を延期しましたが、天候も夏らしい日差しに恵まれ、屋外での十分な感染症対策によって盛大に開催することができました。

西公民館長
(田村康行君)

また、同じく報告書の中央公民館10ページにあります親子交流事業では、例年、屋内に大人数が集うイベント、親子フェスタを開催しているところ規模を縮小することで、参加人数を限定しましたが、親子でのコミュニケーションが図れる釣りをテーマに親子ワカサギ釣り体験を開催しました。

参加者によるたくさんの釣果と相まって、親子の楽しいコミュニケーションが図られた有意義な事業となりました。

このように令和2年度では新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったものの内容の見直しや工夫によって開催できた事業は、今後も継続して実施して行くところであり、引き続き感染症対策をもって住民ニーズに即した事業が展開できるように努めてまいります。

以上をもちまして令和2年度中央公民館所管事業の実績の概要説明を終わります。

令和2年度、西公民館の事業実績報告を説明いたします。

令和2年度におきましては、20のソフト事業を実施してきましたが、評価につきましては、A評価が4、B評価が7、C評価が3、事業が実施できなかったなどで評価できなかったものが6という結果となりました。

令和元年度と比較しますと、A評価は7事業の減。B評価は増減なし、C評価は2事業の増。D評価は1事業の減と大きく変動しているところです。

その理由につきましては言うまでもなく、新型コロナウイルスの流行によるもので、3ページ下段の、こども芸術劇場、4ページ下段の西美展などが開催されております春の芸術文化月間、8ページ下段の、子どもまつりなどの事業が中止を余儀なくされたほか、実施できた事業においても、感染拡大防止の観点から規模を縮小するなどの措置をとっております。

そのような状況下での特徴的な事業といたしましては、9ページのクリスマス子どもの集いが挙げられます。

例年でしたら、公民館に子どもたちが集まって、DVD上映やもちつき、吹奏楽部の演奏などを楽しむ内容でしたが、コロナ禍で、そのような形での開催が困難な状況であったことから、地元のユーチューバーであるNEXTBETSUKAIの全面的な協力のもと、オンラインでクリスマスイベントを配信し、新たな形でのイベントを開催することができ、コロナ禍において子どもたちに少しでも、楽しみを与えられているのではないかと考えております。

以上で西公民館の事業実績報告の説明を終わります。

東公民館副館長
(立澤雅彦君)

それでは東公民館担当分について説明いたします。

東公民館 1 ページから 14 ページに記載のソフト事業 16 事業、東公民館改修事業のハード事業 1 つを合わせた全 17 事業となっております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止から異世代交流事業や室内で密を回避することが困難な芸能発表会など、5 事業を中止といたしました。

昨年度は、密を回避することから屋外活動を中心に事業を実施した結果、普段体験することが難しい沢登りや登山、カヌー体験などに多くの参加者があり、新たなニーズの確認をすることができました。

中止の 5 事業、1 つのハード事業、コロナに伴い閉館期間のあった施設の利用実績、作品展など一部を開催した地域文化祭などを除いた、9 事業の評価内容は、目標実施回数や参加人数など全て大きく上回ったことから A 評価となっております。

以上東公民館担当分の説明を終わります。

図書館長
(堺 啓君)

続きまして、図書館実績報告について説明いたします。

令和 2 年度は、計 22 件のアクションプログラムがあり、うちソフト事業 16 件につきましては、A 評価が 8 件、B 評価が 1 件、C 評価が 2 件、D 評価が 1 件、中止が 3 件、評価なしが 1 件となっています。

また、ハード事業は 6 事業全て実施済みですので、評価は丸となっております。

それではソフト事業で C 評価 2 件、B 評価 1 件の事業についてですが、図書館 1 ページ下段をごらんください。

学校での学習への対応につきましては、評価指数が学校からの相談件数で、目標値 20 件に対し、実績 9 件と、目標値の 50 % 以下にとどまったため、C 評価としております。

続きまして、図書館 3 ページをお開きください。

移動図書館車の巡回につきましては、目標値 8,000 人に対して実績 6,340 人、40,000 万冊に対し、3万6,368 冊と、それぞれ目標値の 79.3 %、90.92 % となっており、どちらも目標値に達していないため、昨年度の B 評価から C 評価に変更しております。

続きまして、図書館 10 ページをお開きください。

お話し会の実施につきましては、評価指数が参加者人数で目標 240 人に対し、コロナの影響がかなりありますけれども、実績 39 人と目標値の 16.3 % にとどまったため、昨年度の C 評価から D 評価に変更となっております。

続きまして、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となった事

郷土資料館長
(堺 啓君)

業です。

1 ページ上段夏休み手芸教室、2 ページ下段古本市支援、8 ページ上段講演会等各種公演事業が中止の事業となっております。

以上で簡単ですが、図書館の実績報告を説明いたしました。

引き続き郷土資料館の実績報告について説明いたします。

令和2年度は16件のアクションプログラムがあり、ソフト事業15件、ハード事業1件となっています。

ソフト事業15件につきましては、A評価が8件、B評価が7件となっています。

内容につきましては、施設の一般公開や教育普及事業、収集所蔵資料などの整備と調査研究についての項目であり、おおむね当初の目標を達成しているものと判断しております。

なお、コロナウイルスの影響により入館者数は前年度対比516人減となっております。

教育普及事業については中止としたものが1件、それ以外につきましては、参加者を少なくするなどして実施しております。

以上簡単ですが実績について説明いたしました。

生涯学習課主査
(上杉大洋君)

それでは生涯教育研究所の事業報告について説明させていただきます。

生涯教育研究所では1ページから2ページにある4事業に取り組んでおり、評価としてはA評価が1事業、B評価1事業、C評価が1事業、D評価が1事業となっております。

過年度分から事業計画としては大きな変更がございませんが、1ページ下段に掲載をしております、学校応援ボランティアリストの拡充では、コミュニティ・スクールの大きな枠組みとして地域とともにある学校づくりの実践に今後も欠かすことのできない大切な要素であると考え、引き続き、取り組みを進めたいと考えておりまして、B評価としております。

近年の人口減少社会にあつては、学校と地域のつながりはますます重要なものになると考えており、学校を核とした地域づくりというまちづくりの観点からも、幼児教育の関係者、学校教育の関係者、社会教育の関係者が集まる、この生涯教育研究所の取り組みはますます重要なものになるというふうに考えております。

以上で、生涯教育研究所の説明を終わります。

教育長
(登藤和哉君)

只今議案第1号の内容説明が終わりましたので、委員の皆様から御質問御意見等がありましたらお受けしたいと思います。何かありませんでしょうか。

教育委員 (大塚保男君)	質問ではないですけども、事前に報告書を読ませていただき、本日、説明も聞かせてもらいました。 コロナ禍でやむを得ず行事を中止にすることもありましたが、そのような中でも、色々苦慮しながら事業等を実施されたことは評価できると思います。 教育委員会の職員の皆さんが頑張って事業を実施してくれたということ、そういう面を評価したいと思います。 ありがとうございました。
教育長 (登藤和哉君)	評価ということでいただきたいと思います。 その他にありませんか。
教育長 (登藤和哉君)	(「なし」の声あり) それでは、なければ採決をさせていただきます。 議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。
教育長 (登藤和哉君)	(「異議なし」の声あり) ありがとうございます。 異議がないようですので、議案第1号については原案のとおり決定することといたします。 続きまして議案第2号別海町生涯教育研究所所員の任命及び委嘱についてを議題といたします。 事務局説明お願いいたします。
生涯学習課主査 (上杉大洋君)	それでは、議案第2号別海町生涯教育研究所所員の委嘱及び任命について説明いたします。 議案書2ページをお開きください。 本議案につきましては、教育委員会の附属機関として、町内の学校幼稚園の教員、保育園保育士、社会教育に係る職員等でもって構成し、本町の生涯教育の実践方法を調査研究しております生涯教育研究所において、委嘱している所員が、本年3月31日をもって任期満了になったことから、新たに委嘱するものです。 今回、所員として委嘱するのは、議案書に示しておりますとおり17名で、任期は、令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間です。 委嘱する所員の基準については、法令においては特段に定めはないところですが、別海町生涯教育研究所設置条例第4条において、研究所の所員等は、別海町内の関係教育機関及び関係行政機関の職員の中から教育委員会が任命又は委嘱することとなっております。 それでは議案書3ページにあります、所員名簿について上段から読

	み上げさせていただきます。 お一人目、相澤 要氏、教育委員会指導室指導主幹、再任 次に、坂内克裕氏、別海町立野付幼稚園園長、再任 次に、大森彩乃氏、認定こども園別海保育園主査、新任 次に、西村弘美氏、別海町立上風連中学校養護教諭、新任 次に、大橋カンナ氏、中央公民館乳幼児母親家庭教育学級指導者、再任 次に、八木かおり氏、認定こども園別海愛光幼稚園主任教諭、新任 次に、根本 渉氏、別海町立上西春別中学校校長、再任 次に、野口泰秀氏、別海町立別海中央中学校校長、再任 次に、小森和則氏、別海町立野付中学校教頭、再任 次に、中野幸治氏、別海町立中西別小学校教頭、再任 次に、太田 等氏、別海町立西春別小学校校長、再任 次に、窪田智也氏、北海道別海高等学校教諭、新任 次に、吉光寺勝己氏、教育委員会指導室指導参事、新任 次に、小村 茂氏、教育委員会中央公民館副館長、新任 次に、上杉大洋、教育委員会生涯学習課主査、再任 次に、水本 望氏、教育委員会図書館司書、再任 最後に森野俊昭氏、別海町スポーツセンター指定管理者別海町地域振興財団課長、再任 以上、再任１１名、新任６名の１７名となっております。 以上で議案第２号の説明を終わります。
教育長 (登藤和哉君)	議案第２号の内容説明が終わりましたので、委員の皆様から御質問御意見等をお受けしたいと思います。何かありませんでしょうか。 (「なし」の声あり)
教育長 (登藤和哉君)	御質問がなければ、採決をさせていただきます。 議案第２号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。 (「異議なし」の声あり)
教育長 (登藤和哉君)	ありがとうございます。 異議がないようですので、議案第２号については原案のとおり決定することといたします。
	－【その他】－
教育長 (登藤和哉君)	それでは議事についてはすべて終了しましたので、日程第５その他の方に入ります。
学務課長	事務局から何かありませんでしょうか。 それでは私のほうから、教職員のワクチン優先接種の内容について

(宮本栄一君)

説明したいと思います。

まず、接種日程ですけれども、1回目が7月22日、約440名となっております。2回目につきましては、8月11日から13日までの3日間で、11日が15時から170名程度、12日が約100名程度、13日が15時から170名程度、約440名全員、2回目の接種が完了するという予定となっております。

接種会場につきましては、町立別海病院で行うこととしております。

接種対象者は、教職員、支援員、公務補、学習指導員、スクールサポートスタッフが学校関係職員となりまして、その他に、教育委員会関係職員ということで指導室、ふれあいルーム、ALT、移動図書館の従事者、生活バス、スクールバスの運転手、給食センターの職員、配送員、学校教育課の健康診断を担当している職員が接種することになっております。以上です。

教育長

それではただいまの説明に対しまして、せっかくの機会でございますので、御質問等があれば受けたいと思います。何かありませんでしょうか。

(登藤和哉君)

教育委員

第1回目の7月22日に対象者全員が1回目を打つということでしょうか。

(木村江里君)

学務課長

対象者全員1日で打つような形になります。

(宮本栄一君)

教育委員

医療関係だと部署ごとに分けて、同じところがかぶらないようにとすることが多いのですが、1回で行うということなんですね。

(木村江里君)

学務課長

学校の先生が7月22日から夏休みに入るものですから、できればその夏休み期間中に実施するというので、夏休みが始まった1日目の22日に接種をして、2回目以降は1回で接種する曜日がないものですから、一般接種の接種後の夕方3日間に振り分けて、全員実施するというような流れになっております。以上です。

教育部長

少しだけ補足させてもらいます。この先生方の接種については、一般接種の中で行いますけれども、当初、想定はしてなかったのですが、病院のお医者さんの意向もありまして、やはりクラスターが発生しやすい学校現場、できれば早く職員もやったほうがいいというようなことで、22日の一般接種が行われない日に、そういった意向でその休みを返上して早目に接種したほうがいいということから、今回の実施にこぎつけたということです。

(山田一志君)

先生方はこの日程で行い、その後子供たちの接種についても計画しておりまして、夏休み期間中に1回目がおわるように、現在調整をしているところであります。

教育長
(登藤和哉君)
図書館長
(堺 啓君)

あくまでも子供について希望する者、保護者が希望するというようなものに限り、接種をするというような内容で、同じく別海病院で接種することで今調整を進めているところです。以上です。

その他、先ほどの説明に対して何か質問ありませんか。

なければ、事務局その他ありますか。

図書館は新型コロナウイルス感染防止のため、5月15日から6月20日の間、臨時休館しておりましたが、新聞でも載っていたのでごらんになった方もいると思いますが、その間個人向け貸し出し、団体向け貸し出しを実施しておりましたので、簡単に利用実績を報告させていただきます。

まず個人向け貸し出しです。

町民対象に事前に申し込みが必要なのですが、図書館のほうに来館していただいて玄関で貸し出し、希望する小中学生には郵送貸し出しを実施しました。

当初の休館期間の5月18日から30日までの期間で51名、236冊の利用があり、うち小中学生の利用は3名8冊となっております。

その後、期間延長された6月1日から20日までの期間では、125名、487冊の利用があり、うち小中学生の利用は8名、21冊、貸し出ししております。

期間全体での小中学生向けの貸し出し、郵送貸し出しは、2件となりました。

次に、団体向けの貸し出しです。本館にあわせて、移動図書館車も運休したため、5月につきましては、巡回できなかったコースのうち、申し込みがあった幼稚園、保育園を対象に、ワゴン車で巡回して図書を配本しました。

5園に対して、173冊の貸し出しとなっております。

期間延長された6月につきましては、小中学校の各学級、幼稚園、保育園、児童館を対象に、6月1日から3日の期間で受け付けをして、希望取りまとめて司書が選書した図書を10日、11日にワゴン車で配本しました。

利用実績は合計41団体に1,238冊を貸し出ししております。

その後受け付けを締め切った6月8日から18日の期間は、図書館のほうの玄関に来て受け取っていただくという形で随時申し込みを受け付けまして、選書貸し出しを実施しました。

こちらのほうは10団体に187冊の貸し出しとなっております。

以上、臨時休館中の貸し出しサービスについて報告させていただきました。以上です。

教育長 (登藤和哉君) 教育委員 (木村江里君) 図書館長 (堺 啓君) 教育長 (登藤和哉君) 教育長 (登藤和哉君) 教育長 (登藤和哉君)	ただいまの説明でお聞きしたい点とかありますでしょうか。 銀行等でも今雑誌等を置いていないところが多いと思いますが、図書館の貸し出し本とかについてはどのように感染症対策をしていますか。 戻ってきた本を返却処理したときに、アルコールで消毒するという形をとっています。以上です。 その他何か質問ありませんか。 ないようでしたらその他、事務局から何かありますか。 (「なし」の声あり) 委員の皆様方のほうからその他、何かありませんでしょうか。 (「なし」の声あり) ないようですので、以上もちまして本日予定しておりました案件全て終了でございます。 これをもちまして、第8回教育委員会議を閉会いたします。 皆様大変お疲れ様でございました。
--	---